

第38回光波センシング技術研究会講演会論文募集

本研究会は1985年の発足以来、光波センシングの基礎、応用から実用化にいたる最新技術の紹介と将来展望をテーマに活動を行ってきました。第38回研究会では「実用が進む分光センシング」をテーマに取り上げます。

分光技術は従来からさまざまな分野で利用され、関係する技術要素や応用も多岐にわたりますが、その中で物質がもつ吸収、散乱、屈折、偏光等の光学特性が波長依存する性質を利用した計測技術やデータ解析技術が、近年興味深い進展を示しています。計測手段も分光器による標準的なスペクトル測定だけでなく、小型・高性能な撮像機器の普及によるイメージング分光へと展開してきています。

そこで今回の研究会では、分光特性を利用した各種計測とそれらの医療、商品開発、生産プロセス、環境分野などへの応用、旋光分散計測など、最近の分光センシング技術に関する招待講演を、チュートリアル講演も交えて企画します。

また、一般講演論文は分光センシングの話題のみならず、光波センシングの広い分野から募集いたしますので、ぜひご投稿くださるようご案内申し上げます。多くの講演者を得て活発な議論を行いたいと思います。

期 日：2006年12月12日(火)、13日(水)

場 所：東京理科大学神楽坂校舎森戸記念館（東京都新宿区神楽坂4-2-2）

主 催：応用物理学会光波センシング技術研究会

協 賛：電子情報通信学会、電気学会、情報処理学会、映像情報メディア学会、日本光学会、計測自動制御学会・センシングフォトンクス部会、日本オプトメカトロニクス協会、精密工学会、IEEE OES (Ocean Engineering Society) Japan Chapter

応募締切：2006年9月22日(金) 必着

募集論文の性格：未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報等は差し支えありません。

講演形式・時間：一般発表講演形式で質疑応答を含めて25分の予定。

応募方法：アブストラクトをFaxまたはE-mailで下記の事務局までお送りください。アブストラクトはA4判1頁以内、書式は自由です。演題、発表者、共著者、連絡先（電話、Fax、E-mail）を明記願います。

論文審査：アブストラクトの内容を本研究会のプログラム委員会で審査します。

論文原稿締切：2006年11月17日(金) 必着。A4判6~8ページ (PDF または Word 文書) を E-mail でお送りください。

参加費用：11,000円 (参加費：5,000円、論文集代：6,000円)。ただし予約割引料金です。

問い合わせ先：光波センシング技術研究会事務局

矢嶋弘義

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南3-11-19

電話/Fax 03-3391-8346

E-mail: lstsec@mbp.nifty.com

URL: <http://annex.jsap.or.jp/kohasensing/>

2006 光学素子加工技術研修会

本研修会は、今後の重要技術である光学素子の加工および計測技術の培養と時代に対応した発展をはかるため、学識経験者のご協力を得て、関連メーカーの教育担当部門と共同して、例年開催しています。

I コースは、光学素子加工の自動化および応用分野の発展をはかる上で欠くことのできない要素技術について、基礎的な総合研修を行うことを目的とした基礎コースです。

II コースでは、近年の光学部品においてはデジタルカメラ、カメラ付携帯電話、DVD・CDなど非球面レンズや自由曲面レンズの需要が拡大している現状を踏まえ、光学材料、加工、成形および計測等の分野における事例を紹介していただきます。

日 時：

I コース 2006年10月4日(水)~6日(金)

9:00~17:00

II コース 2006年10月30日(月) 10:00~16:50

10月31日(火) 9:30~16:50

場 所：機械振興会館（東京都港区芝公園3-5-8）

主 催：(社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会ほか3団体

参加費：Iコース+IIコースの場合、1名につき、一般141,750円、正会員101,850円、賛助会員・協賛114,450円 (テキスト代・消費税を含む)

申込期限：Iコース2006年9月27日(水)、IIコース2006年10月23日(月)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

URL: <http://www.joem.or.jp>

KAST 青少年科学技術フェスティバル 2006～ロボットの可能性を探る～

次世代の社会・産業活動を担う地域の中高生を対象に、最先端の科学技術に触れ合う場を提供することで、科学の面白さを実感してもらうことを狙いとした催しです。ロボットキット等を活用した小スケール実験を見学・体験できるようにし、このような簡易実験の延長線上に高度な研究があることが理解できるようになっています。

日 時： 2006年9月3日(日) 13:00～17:00

場 所： KSP ホール (川崎市高津区坂戸 3-2-1)

主 催： (財)神奈川科学技術アカデミー (KAST)

協 力： (株)ケイエスピー

後援 (予定)： 神奈川県, 神奈川県教育委員会, 川崎市教育委員会

対 象： 小学5年～高校程度 (保護者等を含む), 120人

参加費： 無料

プログラム：

13:00 挨拶 藤嶋 昭 (理事長)

13:10 科学技術講座「筋肉を持つヒューマノイドロボット小太郎」～人間のように柔らかく, しなやかに～
講師：水内郁夫氏 (東京大)

14:10 休憩

14:20 公開実験講座「センサー搭載! ロボットカーを作ろう!」～実際のロボット製作を通じてセンサーの仕組みや駆動のメカニズムを学ぼう～
講師：富永一利氏 (都立産業技術高専)

17:00 終了

防衛大学校応用科学群応用物理学学科教官公募 (A)

公募人員： 教授または助教授1名 (防衛庁教官は特別職国家公務員となります)

所属学科： 防衛大学校応用科学群応用物理学学科

専門分野： 生体情報工学, 人間情報工学, 生体医工学等。人間・生命体に関する理・工学分野, 人間・生体関連の理・工学分野を応用物理学に根付かせ発展させていただける方。

担当科目： (1) 本科 (学部相当) 理工系専門基礎科目の物理学 (実験を含む) および応用物理学専門科目, (2) 理工学研究科前期課程 (修士課程相当)。

応募資格： (1) 本校の使命を十分理解していただける方, (2) 博士の学位を有し, 理工学研究科前期課程 (修士課程相当) において研究指導ができる方。

着任時期： 2007年4月1日

提出書類： (1) 履歴書 (履歴書は書式があります。下記問合せ先にご請求ください), (2) 電子メールアドレス, (3) 研究業績リスト, (4) 主要論文の別刷5編, (5) これまでの研究概要と教育実績 (A4用紙1枚程度), (6) 今後の教育・研究に対する抱負 (A4用紙1枚程度), (7) 応募者に関してご意見を伺える方2名の氏名と連絡先, (8) 現在応用物理学科では (A) (B) (C) の3件公募しております。どの公募に応募するか明記してください (2件以上応募の場合はその順位)。なお提出書類は原則として返却いたしません。

応募締切： 2006年10月6日(金) 必着

書類送付先： 〒239-8686 横須賀市走水1-10-20

防衛大学校応用科学群応用物理学科長 尾高一彦

(簡易書留で封筒に「教官応募書類在中」と朱書のこと)

問合せ先： 〒239-8686 横須賀市走水1-10-20

防衛大学校応用科学群応用物理学科 斎田真也

電話 046-841-3810 (内線 3605)

E-mail: ssaida@nda.ac.jp

その他： (1) 書類選考の上, 候補者に対して面接等を行います。 (2) 選考および面接の結果については, 直接本人に通知いたします。 (3) 適任者がいない場合は決定を保留することもあります。

防衛大学校応用科学群応用物理学学科教官公募 (B)

公募人員： 教授または助教授1名 (防衛庁教官は特別職国家公務員となります)

所属学科： 防衛大学校応用科学群応用物理学学科

専門分野： 音波物性または音波の生体医工学やソフトウェア等への応用

担当科目： (1) 本科 (学部相当) 理工系専門基礎科目の物理学 (実験を含む), および応用物理学専門科目 (応用音響学, 連続体力学等), (2) 理工学研究科前期課程 (修士課程相当) 専門科目 (応用音響特論 I, II)。
応募資格： (1) 本校の使命を十分理解していただける方, (2) 博士の学位を有し, 理工学研究科前期課程 (修士課程相当) において研究指導ができる方。

着任時期： 2007年4月1日

提出書類： (1) 履歴書 (履歴書は書式があります。下記問合せ先にご請求ください), (2) 電子メールアドレス, (3) 研究業績リスト, (4) 主要論文の別刷5編, (5) これまでの研究概要と教育実績 (A4用紙1枚程度), (6) 今後の教育・研究に対する抱負 (A4用紙1枚程度), (7) 応募者に関してご意見を伺える方2名

の氏名と連絡先, (8) 現在応用物理学科では (A) (B) (C) の3件公募しております。どの公募に応募するか明記してください (2件以上応募の場合はその順位)。なお提出書類は原則として返却いたしません。

応募締切: 2006年10月6日(金) 必着

書類送付先: 〒239-8686 横須賀市走水1-10-20

防衛大学校応用科学群応用物理学科長 尾高一彦
(簡易書留で封筒に「教官応募書類在中」と朱書のこと)

問合せ先: 〒239-8686 横須賀市走水1-10-20

防衛大学校応用科学群応用物理学科 斎田真也
電話 046-841-3810 (内線 3605)

E-mail: ssaida@nda.ac.jp

その他: (1) 書類選考の上, 候補者に対して面接等を行います。(2) 選考および面接の結果については, 直接本人に通知いたします。(3) 適任者がいない場合は決定を保留することもあります。

防衛大学校応用科学群応用物理学科教官公募 (C)

公募人員: 助手1名 (防衛庁教官は特別職国家公務員となります)

所属学科: 防衛大学校応用科学群応用物理学科

専門分野: 人間情報工学, 生体情報工学, 生体医工学, ソフトマテリアル等の理・工学分野。

担当科目: 理工系専門基礎科目および応用物理学科専門科目の実験。

応募資格: (1) 本校の使命を十分理解していただける方, (2) 博士の学位を有し, または取得見込みの方で, 理工学研究科前期課程 (修士課程相当) において研究指導補助ができる方。

着任時期: 2007年4月1日

提出書類: (1) 履歴書 (履歴書は書式があります。下記問合せ先にご請求ください), (2) 電子メールアドレス, (3) 研究業績リスト, (4) 主要論文の別刷5編, (5) これまでの研究概要と教育実績 (A4用紙1枚程度), (6) 今後の教育・研究に対する抱負 (A4用紙1枚程度), (7) 応募者に関してご意見を伺える方2名の氏名と連絡先, (8) 現在応用物理学科では (A) (B) (C) の3件公募しております。どの公募に応募するか明記してください (2件以上応募の場合はその順位)。なお提出書類は原則として返却いたしません。

応募締切: 2006年10月31日(火) 必着

書類送付先: 〒239-8686 横須賀市走水1-10-20

防衛大学校応用科学群応用物理学科長 尾高一彦
(簡易書留で封筒に「教官応募書類在中」と朱書のこと)

問合せ先: 〒239-8686 横須賀市走水1-10-20

防衛大学校応用科学群応用物理学科 斎田真也
電話 046-841-3810 (内線 3605)

E-mail: ssaida@nda.ac.jp

その他: (1) 書類選考の上, 候補者に対して面接等を行います。(2) 選考および面接の結果については, 直接本人に通知いたします。(3) 適任者がいない場合は決定を保留することもあります。

お詫びと訂正

第35巻第7号 p.397 掲載の「光学関連会合予定」において, OPJ2006 の問い合わせ先 E-mail に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに, 訂正いたします。

(誤) oj@opt-j.com → (正) opj@opt-j.com

新入会員

個人

会員番号	氏名	所属
A 6103595	石橋 爾子	ネオアーク(株)
6103596	三島由紀子	
6103597	明石 誉貴	CBC(株)
6103598	森部 英征	日本電気(株)
6103600	藤井 秀雄	ペンタックス(株)
6103601	村田 正文	東洋インキ製造(株)
6103602	田邊 貴大	(株)トプコン
6103604	栗原 一郎	カンタツ(株)
6103605	野口 一能	コニカミノルタオプト(株)
6103606	星野 功	Star 光学設計事務所
6103607	吉川 智	住友電気工業(株)
B 0032824	鹿井 正博	三菱電機(株)
0053064	生源寺 類	静岡大学
0058622	中村 広隆	東京都立産業技術研究センター
0062968	小林 幸一	(株)東洋精機製作所
0064143	吉田 恵也	群馬大学
0069338	前田 貴章	室蘭工業大学
0069348	三澤 毅秀	綜研化学(株)
0069399	加藤 一夫	フェリア(有)
0069420	Young-Hee, Mun	Siltron Inc.
0069653	太斎 徹	
0070170	土屋 博之	東京理科大学
0070230	野口 篤志	筑波大学

特別会員

会員番号	団体名
7100347	ブックス書泉
7100348	物質・材料研究機構

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1 (株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー
山本雄一郎

電話 044-549-2329 Fax 044-520-2057 E-mail: yuichiro@mssl.rdc.toshiba.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成18年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	伊東 一良* (大阪大)	笹木 敬司* (北海道大)
副幹事長：	立野 公男* (日立)	
前幹事長：	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事：	吉田 文昭* (コニカミノルタオプト)	岡本 隆之* (理研)
	田中 哲* (防衛大)	豊田 晴義* (浜松ホトニクス)
	石橋 爾子* (ネオアーク)	鬼頭 勤* (NTT)
	生駒 晋也* (トプコン)	山本雄一郎* (東芝)
	麻生 修* (古河電工)	
『光学』編集幹事：	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
『OR』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事：	小西 毅 (大阪大)	各務 学 (豊田中央研)
産学協力幹事：	藪本 浩利 (旭硝子)	藤井 秀雄 (ペンタックス)
将来問題担当幹事：	三宅 隆浩 (シャープ)	清水 賀代 (日本女子大)
電子化担当幹事：	的場 修 (神戸大)	伊藤 達男 (松下電器)
事業・企画担当幹事：	氏家 知子 (ニコン)	矢口 博久 (千葉大)
	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	本多 徳行 (キヤノン)
	板橋 彰久 (リコー)	近江 雅人 (大阪大)
	武山 哲英 (オリンパス)	高橋 進 (凸版印刷)
	吉川 宣一 (埼玉大)	岡嶋 克典 (横浜国立大)
	岡本 淳 (北海道大)	松浦 祐司 (東北大)
	田代 発造 (富山大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	西澤 典彦 (名古屋大)	和田 健司 (大阪府立大)
	岩田 哲郎 (徳島大)	入江 正浩 (九州大)